

Polje

[ポリエ]とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには建っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX:08396-2-2622
E-mail: akiosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP: <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

秋吉台 冬あればこそ 春を忘れず！！

例年になくむらなく真っ黒に焼けた秋吉台。日を経るにつれて黒い灰が、雨で流れたり燃えていない去年の枯れ草の下に入りこんで、その色はあせていきます。同時に入れ替わるように草の新芽が伸び始めます。春を忘れてはいけません。それは植物だけではなく、人もそうです。数十年にわたって今も春夏秋冬、秋吉台を訪れて散策している知人は、2年ぶりのオキナグサに出会ったと嬉しそうでした。これから春本番。すでにワラビも顔を出しているようです。今年はドリーネの底まで行けそうです。



季節の花 今までに撮った記憶も、まじまじ見たこともない

スズメノカタビラ 生えていないところがないと言っていいほど、そしていつでも見かける気がするの、普段から気にしていないからかも知れません。そんなイネ科の植物です。その特徴のとおり分結して大株になるので、大きくなったら力づくで引っ張ると大量の土もゴツソリと取れて「この土、どうするの」と思ったこともたびたび。今まで撮影したこともまじまじと見た記憶もないかも・・・。花は小さな白い花でよく見ないと分かりません。手ごわい雑草の中でも最強ともいえます。そんな雑草に言いたいことがいっぱいあるのは何故？

キュウリグサ 空き地や畑などに生えるムラサキ科の越年草。きわめて薄い青色のかわいい小さな花です。花序が長く伸びて次から次へと花を咲かせます。葉を揉むとキュウリの香りがすることからの命名です。

セイヨウカラシナ 荒地や道路沿いなどに生えるアブラナ科の1年草。菜の花に似ていますが、葉には鋸歯があり枝分かれして大きな株になることがあります。花が開く前の若芽は食用になります。ちょっとほろ苦く、そこに春を感じます。



秋吉台の草原保全活動

「遊歩道の補修」

秋吉台の自然に親しむ会が主催する秋吉台の草原保全活動「遊歩道の補修」に参加しました。これは遊歩道の土砂流出を防止し、草原を保全することを主な目的として行うものです。芝生の束を背負って斜面を歩き来して、遊歩道の土砂があらわになった部分に植え付けます。地道な活動ではありますが、秋吉台の草原を保護し維持するため重要な活動です。



カエルの産卵

今年は来ないのかと心配していたところ

ニホンヒキガエルやヤマアカガエルは寒い冬のこの時期に産卵します。例年だと2月中旬に産卵するのですが、今年は1か月ほど遅い3月19日に確認できました。それまで何度もエコ池(秋吉台エコミュージアムの人口の池、ゲゲゲのエコ池)へ行ったのに見当たりませんでした。どうしたのだろうと心配していたところなので、ホッと安心しました。近隣では溜池が埋め立てられて少なくなっていく傾向にあり、このエコ池はカエルにとって貴重な楽園です。



UFOピーマン

育ててみよう！！

昨年知人から苗をいただいて育てたUFOピーマン。花はピーマンと同じようでしたが、果実はUFOを思わせる形です。不思議ともかわいいとも…。これを肉詰め料理にして食べた人の話だと美味だったとのことでした。また辛かったという人も。シシトウみたいに当たり外れがあるのでしょいか。形が面白く、見た人からタネが欲しいと言われて、完熟するのを待ってタネを採りました。その手で顔を触ったらヒリヒリ。やっぱり辛いのかも…。



4月の行事

4月5日(日) 「化石採集体験」

大正洞桜まつりと同時開催。時間内、先着順に受け付けします。

4月19日(日) 「スノーピー岩と春の花の観察」

春の花を観察しながらスノーピー岩に会いに行きましょう。

